

おれんじニュース

No379

2021年12月



キビタキ(雲仙アザミ谷)

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
金毘羅山・天狗山	5
八郎岳一周	6
戸町岳・悪所岳・熊ノ嶺	7
碁盤の辻	8
妙見・国見・普賢	9
憧れの大キレット	10
おれんじカレンダー	12

2021年	12月	1月	時間	場所
専門部会	14(火)	11(火)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	22(水)	26(水)	19:00~21:00	

12月



月例山行案内

部	山行部	自然保護部	技術研修部	ひまわり部
月/日(曜)	12/5(日)	12/12(日)	12/19(日)	12/24(金)
山名(行事)	岩屋山	矢岳・高岩山	求菩提山(くぼてさん)	鎌倉山・多良見普賢岳
地 図	長崎西北部	雲 仙	伊良原・下河内	大 村
集合場所	西諫早駅 8:00	西諫早駅 8:00	西諫早駅 6:20	諫早駅西口 8:50 西諫早駅 9:00
難 易 度	体力 1.5/技術 1.5	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1
帰着時間	16:00	15:00	19:00	14:00
歩行時間	3~5.0h	4.5h	3.5h	3.5h
交通手段	マイカー	マイカー	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	1,500	700	5000	800
申込期限	11/29	12/05	12/12	12/20
集 約	田 村	中 野	山下ちづこ	田 中
備 考	檜原霊苑から岩屋山、舞岳まで縦走します	コロナ禍、意外と登ってなかった高岩山です。	豊前修験道を偲ぶ多くの遺構が残っています。	ゆっくりと時間をかけて歩きます。

1月

*12月はコロナ禍の状況により、中止や変更の可能性あり

部	山行部	技術研修部	ひまわり部	自然保護部
月/日(曜)	1/9(日)	1/23(日)	1/28(金)	1/30(日)
山名(行事)	鐘撞山~高祖山~叶岳	作礼山	五家原岳	妙見岳・普賢岳
地 図	福岡西南部	相知	多良岳・五家原岳	雲仙
集合場所	諫早駅西口 7:00 西諫早駅 7:10	西諫早駅 7:30	西諫早駅 9:00	西諫早駅 7:00
難 易 度	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 2/技術 2
帰着時間	18:00	17:00	15:00	17:00
歩行時間	6.0h	3.5h	3.5h	6.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	マイクロバス or マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	4,500	3,500	700	3,000
申込期限	12/30	1/17	1/25	1/23
集 約	田 村	山下ちづこ	田 中	中 野
備 考	展望と自然林のアップダウンを楽しむ。	山頂付近には3つの池、中腹には見返りの滝があります。	目標は五家原岳ですが、無理な場合は仏の辻まで下山。	霧氷を観賞します。

事務局より

- ◇ 岩田光雄さんが11月より再入会されました。
約3年8か月ぶりの復帰です。皆さんよろしくお願いたします。



*有田ジャンダルムで課外授業

毎月のコンパニオンレスキューの成果は・・・

- ・登山口より急坂を上り三角点(195.8m)から北のピークまで約250mの馬の瀬吊尾根を歩いた。3人一組でアンザイレンで挑む。岩はボロボロに見えるがしっかりしている。幅も1mほどはある。足を上げ、ロープに足をからませない、木々に引っ掛けないようにして前後をよく確認して歩くことが大事。(乾氏)



確保大丈夫かなー？

◇ 想像力は働いているか？ 被爆遺構巡り、(平和公園. 中心碑公園. 原爆資料館他)

コロナで延期になり、10月9日に実施され長崎原爆の日が赤々と灯され平和の鐘がなり、厳粛な気持ちになった。新発見は、プルトニウム爆弾フィアットマンは黒や灰色ではなく黄色であった(2015年)。ガイドの方が無縁仏を祀る処を案内、資料館の写真の黒焦げの死体や骨は処理されそこに祀られている。(浦田氏)



平和の鐘



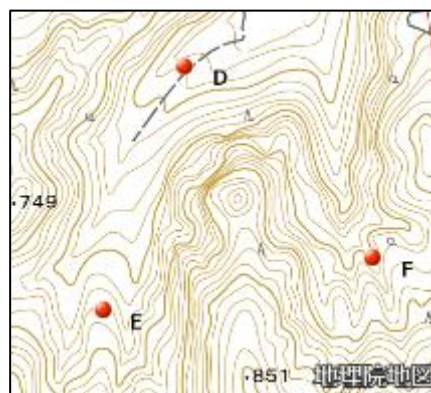
平和の灯



無縁仏追悼の碑

☆地図読み迷人(登山時報11月号の応用)

問題：下の地図のA～Iの地点は尾根または谷でしょうか？上級者2分、中級者5分以内



県連より

- ・本年度の登山フェスタ及び登山学校雪山訓練は中止とする。
- ・12月3日(金) 山筋ゴーゴー体操学習会 場所：カブトガニアリーナ 時間：13:30～17:00
- ・2月19日～20日 第35回日本勤労者山岳連盟定期総会
- ・3月13日(日) 第57期 県連定期総会 場所：市民会館 時間：13:30～17:00




定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	10月30日	ロープハーネス	アンザイレン	確保	ルペルソ懸垂下降
場所	運動公園				
参加数	7名				



火曜岩ハイキング

月日	10/19・天山	10/26・国見山～隠居岳	11/2・岸岳
参加	10名	11名	14名
行程	9:00 西駅—11:10 登山口～11:55 雨山～12:30 天山 13:00～13:40 天山神社～14:00 登山口	9:00 西駅—10:25 国見登山口P～10:50 国見山～12:10 八天岳～13:00 烏帽子岳 14:00～15:00 隠居岳	9:50 ふれあい会館P～10:30 登山口～11:40 岸岳～12:50 姫落し～14:30 法安寺～15:40 岸岳古窯跡
感想	花を求めて天山へ。しかしリンドウはたくさんあったが、トリカブト他の花はなかった。天山山頂は相変わらず風が強い。	佐世保の山を4山縦走、マイカー移動とした。歩行時間は少なかったが、烏帽子、国見山の展望もよく、気持ちの良い山行だった。	登山口からの登りは崩落部分があり、藪漕ぎで岸岳城内に入った。城跡はなだらかな尾根歩きだった。帰りには唐津焼発祥の窯跡によった。
備考	雨山へ・リンドウ 	烏帽子岳・展望台 	岸岳 



水曜登山

月日	10/20・烏帽子岳	10/27・有田ジャンダルム	11/3・雲仙
参加	9名	9名	6名
行程	8:00 西駅—9:20 林道登山口～10:55・644ピーク～11:30 烏帽子岳 12:00～13:30 林道登山口	8:00 西駅—JR有田駅前—10:10 椎谷神社～10:40 ジャンダルム～12:00 八坂神社 12:20～13:00JR有田駅前	10:40 仁田峠P～11:25 妙見神社～11:45 国見岳 12:15～14:00 鬼人谷～14:30 アザミ谷～15:20 野岳～16:00 仁田峠P
感想	初のルートだったが、途中の登山道脇には、アキチョウジ、ヤマハッカ、ナギナタコージュなどの花が見られ、また、奇怪な樹木もあって楽しめた。	有田駅浦の椎谷神社脇から急坂を30分上ると岩場が始まる。ナイフブリッジが1時間ほど続くスリリングな山行だった。貴重な体験ができたと女性陣は喜んでいました。	秋晴れの雲仙の紅葉を満喫しようと出かけたが祭日も重なり、大渋滞にまきこまれた。しかも、野岳でアケボノソウとウメバチソウを探したが未発見だったので再度挑戦することとした。
備考	奇怪な木・ナギナタコージュ 	ナイフブリッジ・岩観音 	妙見岳・野岳 

2021. 10. 10(日) 金比羅山(366.3m)、天狗山

行程: 西諫早駅8:00—立山公園P 8:34—登山開始8:50
～金比羅神社9:17～ダンギク群生地9:30
～金比羅山頂10:20～天狗山10:40昼食11:27
～室生寺11:47～西山3丁目登山口11:50
～ドンク岩広場13:10～穴弘法寺の方へ散策
～砲台跡13:20～立山公園P 駐車場13:53解散



登山概要

往復をバイパス利用で計画より目的地に早く着き1時間ほど早い行程で行動できた。金比羅神社でお参りして、金比羅山へ。室生寺への下りは林の中で快適だったが、九州自然歩道の登りは住宅街の階段道で日差しも強く結構厳しい登りであった。旗揚げ広場は涼しくて鋭気を養い、砲台跡を見て下山した。ダンギクは日照り続きのせいであろうか、盛りを過ぎていた。低山なれど6.3kmの歩きを皆楽しんだ。



参加者:

山下 村田 福岡 川原 金丸
川野 松岡 久保 今坂 畦崎
大原 渡辺 福田 田中 高田

一言感想:

- *暑かった。何処まで続くのかと思うほど長い階段がきつかった。でもダンギクに出会え、未知のルートを歩け、参加してよかった。
- *素晴らしい秋晴れの好天に恵まれ、順調な行程でしたが、西山3丁目から旗揚げ広場への延々と続く急な階段にはこたえました。
- *少し日差しは強かったですが、日陰は涼しく金比羅山からの眺めも最高でした。柿もおいしかったです。
- *ドンク岩までの最後の登り(九州自然歩道)がきつかったけれど楽しく歩けた。
- *参加者が気持ちよく楽しめるルートを計画していただき感謝です。
- *山頂からの展望は何回見ても素晴らしい。ダンギクの花を多く見られて良かった。
- *初めて西山3丁目から九州自然歩道を旗揚げ広場まで登り、1つ道を覚え、良かった。



ダンギク

行程

8:00 西諫早駅—8:55/9:10 平山市民農園
～9:30 サイクリングロード～10:00 松尾岳
～11:00 佐敷岳～11:20/11:55 千々峠(昼食)
～12:15 小八郎～12:50/13:20 八郎岳
～14:40 平山市民農園

八郎岳から俯瞰



参加者

坂口 福岡 山下ち 浦
今坂 吉川 渡辺 大原
中村 鎗水 正木

松尾岳～八郎岳～千々峠～八郎岳

10/17(日)



松尾岳の岩場



小八郎岳

概要

前半の松尾岳、佐敷岳は急登であったが、予定より1時間ほど早く到着。晴天なれど風冷たく、止まると肌寒い感じでした。千々峠が11時20分で少し早いですが、木陰、日当たりともあり、ゆっくり昼食と会話を楽しみました。後半は、小八郎岳、八郎岳でそれぞれ休憩をとり、八郎岳では眺望を楽しみました。今年になり八郎岳周辺は伐採作業が始まっており、八郎岳-農園駐車場への登山道は、新たな林道で寸断され、ルートは外れていなくても登山道としての風景は全く変わっているのか、何度も登られている方々が見慣れない状態になっていたようでした。天気にも恵まれ特に大きなトラブルもなく下山できました。

- ・行程が早く進み、天気もいいので、休憩を多めにとって調整となっています。
- ・昼食場所は千々石峠でしたが、10人ぐらいなら小八郎岳でもよかったかと思われます。八郎岳の方が広くはありますが、時間が遅くなるでしょう。

戸町岳(427m)～悪所岳(506m)～熊の峰(569m)

10/24日(日) 三峰巡り!



参加者 鎗水 蛙崎 今坂 大久保
大原 金丸 高田 乾
高森 田中 中野 前田
福岡 松岡 渡辺 中里

戸町岳

戸町岳迄はきついな

行程 西諫早駅 8:00～高速～大山教会 8:50～烏帽子岩表示板
～急坂～戸町岳 9:45～悪所岳表示板～悪所岳 11:40～悪所岳表示板
～熊ヶ峰 12:10 昼食～ヒノキ林～竹林～大山教会 14:05

登山概要

烏帽子岩表示板のある所から河川跡を渡るとすぐに急登が始まり、樹木を掴みながらの登山となった。息を切らしながら鉄塔を二つやり過ごすところは展望のきいた戸町岳山頂。鶴の港とうたわれる長崎港の眺望を楽しみ記念写真を撮った後は悪所岳に向かった。二つほどのピークを登ったり下ったりする中で気づいたのは、登山道を寸断する林道の新しさでした。

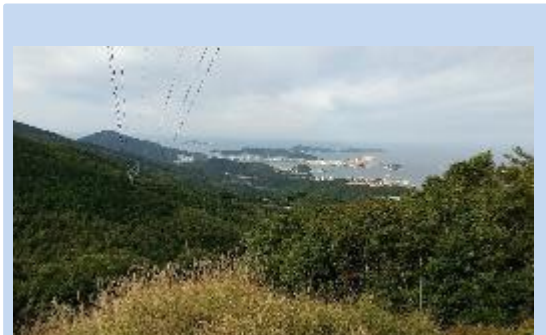
最近、外国が自国の森林の乱伐に耐えかね樹木の輸出を差し止めているとかで、日本の樹木に業者が回帰しているそうで、各地で伐採が盛んになってきている表れかと感じた。

悪所岳はこれまた展望の優れたところで昼食も格別のおいしさをもたらしてくれた。

ある山の会の設置した山頂表示板が新しく、山を愛する人達の心意気を感じた。

悪所岳からの下りではグベの実が至る所で実っており、会長はじめ皆さんが童心に帰って弦を引っ張り助け合って収穫しているさまが何とも可愛らしく思えた。

三峰のうち最も高い熊ヶ峰は樹木に覆われ展望は全然なし。早々に下山に向かうと急坂のヒノキ、そして倒れた竹が散乱する竹林と続き、結構苦しんだ下山であったが全員無事に計画通りに終了できた。



熊の峰



どうだこのグベ



グベ取り狂騒曲

一口感想

- 秋晴れで最高の登山日和でした。グベ狩りも出来て童心に帰った、楽しい一日でした。
- 思ったより長くハードなコースを計画したものです。でも、高齢のグベ取り狂騒曲は面白かったですね。
- アップダウンの多いコースにフーフー言いましたが、久しぶりに山らしい山を歩いて満足です。

10/29(金) 碁盤の辻

行程

西諫早駅 9:10～県峠 P9:30～碁盤の辻 10:37～車道 11:10
～八天岳展望所 11:35～展望台 12:00(昼食 50 分)出発 13:00
県道峠 P13:45～西諫早駅 14:10



参加者

工藤 福岡 田中 金丸 中里 大久保 山口 林

登山概要

花の木トンネル上の県道峠の下に車を止める。少し上ると案内板と碁盤の辻の標識がある。坂を登ると穏やかな起伏の尾根道で、ほとんど展望はないが広葉樹林と針葉樹林が交互に現れ、なかなか雰囲気のある山道で気持ちがよい。碁盤の辻は平坦で昔は有明海、大村湾、橘湾が五大方向に見えることからその地名が付いたといわれているが、今は景色は全く望めない。

九州自然歩道はここで直角に曲がり、急坂を下ると車道に出る案内板があり道が二又に、北東に行くと土師野尾ダムへ、東に行くと土師野尾町へ、ここから東へ向かい八天岳展望所まで行って戻ってくる。ここからダムの方へ車道を少し下り、左手に鎖の掛かった道を登って行くと展望台あり雲仙が綺麗にみえた。ここからは道が三ヶ所あり南西方面の林道を歩き県道峠へ戻る。

ちょっと感想

*素晴らしい秋日和で適度な歩行距離と皆さんとの会話楽しく良い1日が過ごせました。

*樹林に覆われた尾根道は雰囲気、気持ちよく楽しく歩けた。八天岳展望所まで行く。林道から見る八天岳の美しい山容と広い裾野の景色を楽しみながら歩く林道は快適でした。

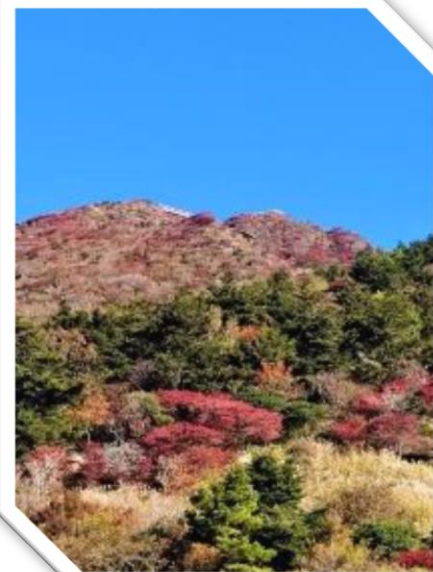
11/7(日) 普賢岳 (1359m)



福岡 松岡 堺 渡辺 畦崎 吉原 浦 大原
川野吉川 福田 乾 前田(外) 大矢(外)

工 程

- (往) 西諫早駅 8:15—池の原 9:20～仁田峠 10:00～紅葉茶屋
10:30～北の風穴 11:20～立岩の峰(昼食)11:40/12:15
～霧氷沢 12:30～普賢岳 12:40
- (復) 普賢岳 13:00～紅葉茶屋 13:20/13:25～アザミ谷 13:40
～仁田峠 14:00/14:15～池の原(解散)—諫早



登山概要

10月末から妙見岳の斜面は紅葉が始まり、真っ赤な紅葉と緑のヤマグルマのコントラストが映える普賢岳、国見岳の広葉樹林は見応えある。鬼人谷の紅葉も素晴らしい。

ちょっと感想

- * 久しぶりに参加される方にも会えて、天気は良く眺めも良く、雨の翌日で道が真っ赤に染まっていて楽しく踏みしめて歩きました。
- * 素晴らしい青空に紅葉も映え、初めて見る雲仙の山々に感動の連続でした。

憧れの大キレット・穂高縦走



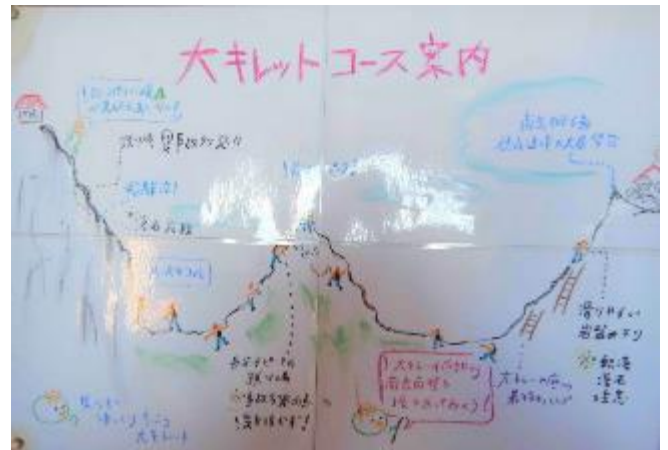
女将の気まぐれスイーツはいつも売り切れ。

10/3(2日目)

6時出発。出発時に横尾の山岳パトロール隊の方に声を掛けられ、天狗原から南岳と答えると、にっこり笑って「今なら紅葉が最盛期、涸沢より見ごたえありますよ」と教えてくれました。“てくてくてく” 今回の行程で一番高度差のある日、1530m余りを登りあがりました。教えてくれた通り、天狗原までの登山道も場所によっては道の両脇が紅葉。近くで見ても見事な色づき、逆さ槍もゲット。予定通り、南岳小屋に到着。ぎりぎり軽食に間に合う時間で、豚汁定食が残っていたのでゲット。当初2つ予定も、あとから来た方と3人でシェアでミニ豚汁定食。今回はツアーでないの、食事も自分の食べたいだけ選んだので、いつも、余って荷物になって困っていた分は持たずに済み、体調も私は絶好でした。でも、コロナ禍後、再開直後で夜も窓は開けっぱなし。寒かった——。もっていった衣類その他はほぼ全部着込んだりしました。予定通りといえば予定通り。



これは夕飯。豚汁は2回目でもおいしく、ちょっとしたスイーツもうれしい。コーヒーもついてました。



10/4(3日目)

いよいよ大キレット。当初、8/23 出発予定で、8/21 に滑落死亡事故が起こっていたせい、ガイドさんがナーバスでおくるみ状態。ありがたくもあり、うっとうしくもあり。でも、そのせい、難所も切り立った尾根も恐くもなく、ざれた道でも転ぶこともなく乗り切りました。

飛騨泣きにさしかかったとき、岩峰の向こうでヘリによる救助活動あり、停滞が30分以上。当初は、雄大なながめを堪能していましたが、じんわり恐くもなりかけたころやっと終了。ダウブローはさえぎられていても風はあり、ちょっと体が硬くなりました。それでも、気を取り直して出発。北穂高小屋到着。ここでも、私は適量食べて、休憩して穂高小屋まで行く予定。でも、諸般の事情で16時までには到着できないと、諦めて、北穂高小屋に戻るというアクシデント。でも、翌日の日の出と見事なモルゲンロートが見られたのでよかったのかも。



奥壁バンド

10/5(4日目)

日の出を堪能して出発。大キレットもですが、こちらの奥壁バンドも凶悪。でも慎重に越え、穂高小屋到着。あとで考えると涸沢へ下りるべきだったかもしれませんが、天気も良かったため当初の予定通りの岳沢小屋をめざしました。奥穂高を越え、吊尾根をあるき紀美子平、時間がかかりすぎ、前穂は割愛。でも、その分私は、じっくり風景を眺めながらすすめました。最後はヘッドランプを付けての下りになりましたが、岳沢小屋到着。ワクワク、ドキドキも堪能できました。反省も多く、勉強にもなる行程でした。でも、心が残ったので、もう一度挑戦したいです。(浦 記)



大キレット～槍のモルゲンロート



岳沢の紅葉を見下ろす



おれんじカレンダー

12月				1月			
1	水	水曜登山	12月はコロナ禍の状況により、変更の可能性あり	1	土		
2	木			2	日		
3	金			3	月		
4	土	ボルダリング		4	火		
5	日	岩屋山(山行部)		5	水		
6	月			6	木		
7	火	火曜岩ハイキング		7	金		
8	水	水曜登山		8	土	ボルダリング	
9	木			9	日	鐘撞山～高祖山～高地山～叶岳(山行部)	
10	金			10	月		
11	土	ボルダリング		11	火	火曜岩ハイキング (専門部会)	
12	日	矢岳・高岩山(自然保護部)		12	水	水曜登山	
13	月			13	木		
14	火	火曜岩ハイキング (専門部会)		14	金		
15	水	水曜登山		15	土	ボルダリング	
16	木			16	日		
17	金			17	月		
18	土	ボルダリング		18	火	火曜岩ハイキング	
19	日	求菩提山(技研部)		19	水	水曜登山	
20	月			20	木		
21	火	火曜岩ハイキング		21	金		
22	水	水曜登山 (全体集会)		22	土	ボルダリング	
23	木			23	日	作礼山(技研部)	
24	金	鎌倉山・多良見普賢岳(ひまわり)		24	月		
25	土	コンパニオンレスキュー		25	火	火曜岩ハイキング	
26	日			26	水	水曜登山 (全体集会)	
27	月			27	木		
28	火			28	金	五家原岳(ひまわり)	
29	水			29	土	コンパニオンレスキュー	
30	木			30	日	妙見岳・普賢岳(自然保護部)	
31	金			31	月		

川原顧問所掌 ➡ 火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(月末土曜 9:30) 西諫早駅集合
 ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く毎土曜 13:30) またたび

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集委員	鎗水律夫、福岡正廣、工藤学、中里利行、林孝子 中野美津子、田中静香、高田啓子、山下文代
発行年月日	2021/11/24
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com